

1.1 在宅医療に関する啓発（1）

	事業の目的		事業内容	実施主体	実施していること	事業を進める上での課題
1. 1. 1. 本人・家族への在宅医療に関する啓発	【大目的】 在宅で十分療養生活が可能であることや、どのようなサービスが受けられるかの市民全般の認知度が向上している	【小目的】 多くの市民が冊子・パンフレット・広報・ホームページ等の各種媒体に日常的に触れ、在宅療養の知識を蓄積している	①市民に対する啓発用小冊子・パンフレットの作成・配布	市地域福祉課	・啓発用冊子の作成、配布 市：よくわかる在宅医療、かかりつけ医のススメ 【配布先】医師会・歯科医師会・薬剤師会本部と各会員、市民病院、小牧第一病院、支所・出張所、保健センター、コミュニティセンター、老人福祉センター、介護保険サービス事業所 在宅医療サポートセンター ：かかりつけ医・歯科医・薬剤師をもちましよう	
			②本人や家族等に対し外来時や入院時等に医療・介護関係機関の専門職等から説明	医療・介護関係機関		
			③市民に対し、広報等の特集やホームページに継続的に掲載	市地域福祉課 市保健センター 社会福祉協議会	・市広報へ掲載 H27. 5. 15 号、9. 1 号 H28. 9. 1 号 ・ケーブルテレビで啓発 H27. 7. 6～7. 12	
		【小目的】 多くの市民が様々な講座を受講することで、在宅療養の知識を蓄積している	④市民に対し、外部講師や受講者等によるゆうゆう学級における講座の提供	市生涯学習課		
			⑤市民に対し、関係の専門職等による講師団や在宅医療経験者等を講師とする出前講座の提供	社会福祉協議会 市保健センター 介護保険サービス事業者連絡会 在宅医療サポートセンター	・H28. 6. 17 市立寿学園（65 歳以上を対象とした月 1 回の催し）での講演 ・在宅医療市民向け講演会 H26. 11. 15、H27. 1. 17、3. 21 H28. 2. 28、H29. 2. 19	
		【小目的】 定期的・継続的な PR 活動に多くの市民が触れ、在宅医療への認識を常に新たにしている	⑥在宅医療に係るキャンペーン等効果的な啓発の実施	市地域福祉課 地域包括支援センター		
1. 1. 2 在宅医療従事者への在宅医療に関する研修	【大目的】 在宅医療に関係する各職種が、研修を受講し、在宅医療・介護の知識・技術等を深め、実践しようとしている	【小目的】 各職種が研修を受講し在宅医療への知識を深めている	①従事者に対する職種単位や組織内での研修会の開催	市民病院 医師会 歯科医師会 薬剤師会 介護保険サービス事業者連絡会 介護支援専門員連絡協議会		
		【小目的】 各職種が職種横断的な研修を受講することで在宅医療における多職種連携の実践的なノウハウを蓄え、実際の連携につなげている	②従事者に対し多職種合同の研修会の開催	市地域福祉課 関係機関	・多職種研修会の開催 H28. 7. 12、H28. 10. 20、 H29. 1. 19	・医療職の参加が少ない。
			③ケアマネと医療機関との連携強化	市地域福祉課 市介護保険課 地域包括支援センター 医師会	・医師とケアマネの座談会の開催 H28. 11. 10	・平成 28 年度は他の研修と日程が重なり医師の参加が少なかった。日程の工夫が必要。

1.1 在宅医療に関する啓発（2）

	事業の目的		事業内容	実施主体	実施していること	事業を進める上での課題
1. 1. 3 最期の迎え方とその準備に関する啓発（セミナー、冊子等）	【大目的】 市民一人ひとりが最期の迎え方に意識を持ち、望みを明確化し準備できるようになっている	【小目的】 最期を自宅で迎えられることを見聞きし、自らの希望する最期の迎え方を考えられるようになっている	①市民に対する、様々な職種・立場の方からの講演会・体験談等の実施	市地域福祉課 市民病院 地域包括支援センター 社会福祉協議会 医師会	・在宅医療市民向け講演会 H26. 11. 15、H27. 1. 17、3. 21 H28. 2. 28、H29. 2. 19	・参加者を増やすための啓発方法の見直しが必要。
		【小目的】 学校教育を通じ生命や人生に対する考え・意識を持つようになっている	②児童生徒に対し生命・人生についての教育の実施	市内小中学校（教育委員会）		
		【小目的】 自らの希望する最期の迎え方を考え、準備に向け取り組めるようになっている	③市民に対し、映画「エンディングノート」等の上映やエンディングノートの紹介	社会福祉協議会 地域福祉課 生涯学習課 地域包括支援センター	・H27. 4 わた史ノート作成 ・H27. 11 テレビ愛知より取材 ・H28. 8. 30 豊川市がエンディングノートを作成したことに伴いNHKより取材 ・H28. 10、11 民生委員に対しわた史ノート作成の経緯などを説明 ・H28. 12. 6 中日新聞に掲載	・わた史ノートを利用してもらうための普及・活用方法の検討が必要。

1.2 在宅医療に関する情報整理・提供

	事業の目的		事業内容	実施主体	実施していること	事業を進める上での課題
1. 2. 1 在宅医療に関する情報整理	【大目的】 在宅医療に関し必要・参考となる情報が逐次・定期的に収集・整理されている	【小目的】 在宅医療の提供者の状況（供給量等）が定期的に把握・整理されている	①アンケート調査等により、医療機関等に対し、在宅医療及び連携する介護サービスの実施状況等の照会及び実施に向けた課題の洗い出し	医師会 歯科医師会 薬剤師会 介護保険サービス事業者連絡会 市地域福祉課 市介護保険課 在宅医療サポートセンター	・ H27 在宅医療サポートセンターが医師会員及び訪問看護ステーション向けのアンケートを実施 ・ H28 市が歯科医師会員、薬剤師会員向けのアンケートを実施 ・ H28 市が医師会員向けのアンケートを実施（往診・訪問診療の件数や看取りの件数について調査）	
		【小目的】 在宅医療の需要者の状況（需要量・分布・ニーズ等）が定期的に把握・整理されている	②アンケート調査などにより、利用意向、利用に際しての課題の洗い出し	市地域福祉課	・ H27、H28 市が市民（40 歳以上の市民 2,000 人、無作為抽出）向けのアンケートを実施	・ 課題の洗い出しができていない
		【小目的】 関係機関で共有すべき情報が、逐次把握・整理されている	③個々の医療機関等から、在宅医療の実施状況（規定の様式）を登録・更新	医師会 歯科医師会 薬剤師会 介護保険サービス事業者連絡会 市地域福祉課 在宅医療機構サポートセンター	・ 在宅医療サポートセンター及び市が実施したアンケートより、医療機関等の情報を集約したマップを作成（H29.3 完成予定）	
1. 2. 2 在宅医療に関する情報提供（HP・冊子等）	【大目的】 在宅医療に関する情報が、必要な時に迅速・的確に入手できている	【小目的】 入手・活用したい情報項目が利用者から定期的に把握されている	①医療機関や高齢者へのアンケートの実施	市地域福祉課 地域包括支援センター	・ H27、H28 市が市民向けのアンケートを実施	
			②退院等する市民やその家族に対する、退院調整会議等での案内	市民病院 医師会 歯科医師会 薬剤師会 市地域福祉課		
		【小目的】 在宅医療を希望する市民が、実施機関に関する情報を随時入手できるようになっている	③市民に対し、実施機関マップ等を作成し配布	市地域福祉課 医療関係機関	・ 在宅医療サポートセンター及び市が実施したアンケートより、医療機関等の情報を集約したマップを作成	
			④在宅医療を支える医療機関や訪問看護ステーション等の情報紹介	市地域福祉課 市介護保険課 地域包括支援センター		
1. 2. 3 在宅医療相談窓口の設置	【大目的】 窓口相談することで、在宅医療についての不安や疑問等が解消され、円滑に在宅医療に移行できている	【小目的】 市民が窓口を通じ気軽に相談できている	①市民からの在宅生活に関する総合相談窓口機能を強化し、在宅医療で何ができるか、どこで受けられるか等の情報を集約、ワンストップで提供	地域包括支援センター 在宅医療サポートセンター	・ H27 在宅医療サポートセンターを開設	・ 今後は、介護分野との連携をさらに深めていくことが必要
		【小目的】 在宅医療の利用希望者に、適切な療養体制を整え提供できている	②相談から利用に向けた調整機能の構築	市地域福祉課 在宅医療サポートセンター	・ H27 在宅医療サポートセンターを開設し相談業務を実施 相談件数：H27 17 件 H28 26 件	

1.3 在宅医療提供体制の整備（1）

	事業の目的		事業内容	実施主体	実施していること	事業を進める上での課題
1. 3. 1 在宅当番医体制の構築	【大目的】 在宅医療を支える医師の診療体制が整っている	【小目的】 訪問診療を行う医師が十分な数いる	①在宅医療医の拡充と在宅医療実施機関間の連携	市地域福祉課 医師会 歯科医師会 薬剤師会		
		【小目的】 医療機関が訪問診療医を支えている	②訪問診療医に対する後方支援病院の確保	市民病院 保健所 医師会 歯科医師会 薬剤師会		
		【小目的】 訪問診療医の定期訪問の間を看護師がきめ細かくフォローしている	③訪問看護師の確保と、訪問診療医との連携強化	介護保険サービス事業者連絡会 医療関係機関 市地域福祉課 市介護保険課		
		【小目的】 より効果的な在宅医療の提供に向け、調整・評価改善等がなされている	④在宅医療・介護を推進する多職種連携体制の構築・運営のための連絡調整、運営状況の評価・改善等を行う仕組みの検討	市 ・秘書戦略課 ・協働推進課 ・地域福祉課 関係機関 ・市民病院 ・医師会 ・歯科医師会 ・薬剤師会 ・地域包括支援センター ・介護保険サービス事業者連絡会 ・介護支援専門員連絡協議会 ・ボランティア団体 ・民生委員	・H27 在宅医療・介護連携推進協議会を設置	
			⑤その仕組みをどのような組織で動かしていくかの検討	市地域福祉課 地域包括支援センター 市介護保険課 地域包括支援センター 医師会 歯科医師会 介護保険サービス事業者連絡会 在宅医療サポートセンター	・H27 在宅医療・介護連携推進協議会を設置	・協議会の開催が少なく、協議や検討ができていない。
1. 3. 2 訪問看護との連携体制構築	【大目的】 訪問診療医の定期訪問の間を、連携する訪問看護師がフォローしている	【小目的】 研修会やカンファレンスを通じ多職種が連携している	①多職種による連携課題の解決などの研修会の実施	市地域福祉課 市介護保険課 地域包括支援センター 医師会 歯科医師会 介護保険サービス事業者連絡会 在宅医療サポートセンター	・多職種研修会の開催 H28.7.21 医療と介護の連携推進に向けた課題の共有と解決策の検討 H28.10.20 経管栄養の方に対する口腔アプローチ あなたならどうする H29.1.19 正しく飲めなきゃ命のキケン ある認知症の夫婦へのアプローチ	

1.3 在宅医療提供体制の整備（2）

	事業の目的		事業内容	実施主体	実施していること	事業を進める上での課題
1. 3. 2 訪問看護との連携体制構築	【大目的】 訪問診療医の定期訪問の間を、連携する訪問看護師がフォローしている	【小目的】 研修会やカンファレンスを通じ多職種が連携している	②多職種によるカンファレンスの実施	市地域福祉課 市介護保険課 地域包括支援センター 医師会 歯科医師会 介護保険サービス事業者連絡会 在宅医療サポートセンター	・多職種研修会の開催 H28. 7. 12、H28. 10. 20、 H29. 1. 19 ・ H29. 2. 15 在宅医療サポートセンターと介護保険サービス事業者連絡会で、クリニックの看護師を対象とした訪問看護師による勉強会を開催	・ 今までの多職種研修会において、訪問看護を中心とした事例検討や、退院時を想定した事例検討ができていない。
		【小目的】 研修により、医師を補完する高度な訪問看護が提供できるようになっている	③看護技術向上への研修の実施	介護保険サービス事業者連絡会		
1. 3. 3 訪問介護との連携体制構築	【大目的】 医師と連携した訪問介護事業者が在宅療養での生活面を支えている	【小目的】 研修会を通じ、多職種が連携している	①多職種による連携課題の解決などの研修会の実施	市地域福祉課 市介護保険課 医師会 介護保険サービス事業者連絡会 在宅医療サポートセンター	・ 多職種研修会の開催 H28. 7. 12、H28. 10. 20、 H29. 1. 19	・ 訪問介護を中心とした事例検討が開催できていない。
		【小目的】 研修により、医師を補完する高度な訪問介護が提供できるようになっている	②介護技術向上への研修の実施	市介護保険課 介護保険サービス事業者連絡会	・ 介護職員現任者研修（基礎コース、特別講義）の開催 ※隔年開催（H27 は通所系、 H28 は訪問系）	
1. 3. 4 在宅看取り体制の構築	【大目的】 在宅で望んだ最期が迎えられる	【小目的】 マニュアルにより看取りに対する本人・家族の不安が払拭されている	①市民に対する、看取りまでの段階別・状況別の対応マニュアル作成	市地域福祉課 医師会 歯科医師会 介護保険サービス事業者連絡会 在宅医療サポートセンター		
		【小目的】 研修により、在宅看取りに対応する医師等が増える	②全職種で看取りに対する研修の実施	医師会 歯科医師会 介護保険サービス事業者連絡会 在宅医療サポートセンター		
			③ターミナル期における全職種によるカンファレンスの実施	医師会 歯科医師会 介護保険サービス事業者連絡会 在宅医療サポートセンター		